

町長室から

北海道にも本格的な夏の到来を告げる30度超えの天気となりました。

国のGOTOキャンペーンはブリーキとアクセルを同時に踏んでいるとの意見が多くありますが、甚大な影響を受けている観光関係者の皆さんにとっては大いに期待するところがあると思います。

感染経路がわからない感染者の増加は心配な点が拭い去れませんが、個人個人の行動の自由を縛ることが出来ない中では自分の身は自分で守ることに徹するしかありません。

フクチン開発までの息の長い対応が求められます。

英語を母国語として話す人をALT(外国語指導助手)として、小・中学校に赴任していただき、子どもたちに生の英語を指導していただいています。浦幌町には2名

来ていました。

その1人であるヘイリー・ルネー・グティックさんが離任するため挨拶に来てくださいました。

彼女は2年間の赴任でしたが子どもたちとも楽しく過ごせたとし、浦幌町で楽しい時間を過ごすことが出来ました。好きなビールもたくさん飲みましたし、浦幌町がすっかり好きになりました。まだ出身のフロリダには帰らず、これからは札幌での生活になります。で、これからも浦幌町へ遊びに来たいです」と言ってくれました。

わたしからも「浦幌町の子どもたちにネイティブな英語を教えてください。健康に気を付けて、また是非遊びに来てください」とお送りしました。

総合振興計画審議会の会長さん

に「浦幌町第4期まちづくり計画」の諮問をさせていただきました。

「第4期まちづくり計画」は第3期計画が今年度をもって終了することから2月から町職員で構成する「総合振興計画策定委員会」を発足させて、「総合振興計画審議会」の委員さん、産業団体とのまちづくり懇談会など行いながら、基本構想、基本計画の検討を進めてきましたが、案が出来たことから「総合振興計画審議会」へ諮問するとともに町民へのパブリックコメントを求めています。

「第4期まちづくり計画」に町民の皆さんのご意見をお待ちしています。

新型コロナウイルス感染症対策として国は第2次の「地方創生臨時交付金」を編成しました。

浦幌町はこれまでも影響を大きく受けている町民の皆さんに行き

渡る様に予算編成を行ってまいりましたが、第2次の地方創生臨時交付金を9月議会へ予算案を提案することになりますので、その編成作業を進めています。

全ての人が受ける損失を補填できるものではありませんが、事業を継続していくための栄養剤となるようにしたいと考えています。

暑い夏を乗り切るために、コロナ対策と同時に熱中症への対策も必要です。

十分な休養を取りながら、無理をせず自然体で、なおかつ3密を避けて咳エチケット・手洗い・マスクの着用で過ごす新北海道スタイルの夏を体験してみようではありませんか。

浦幌町長 水澤一廣